

コンプライアンス・リスクマネジメント

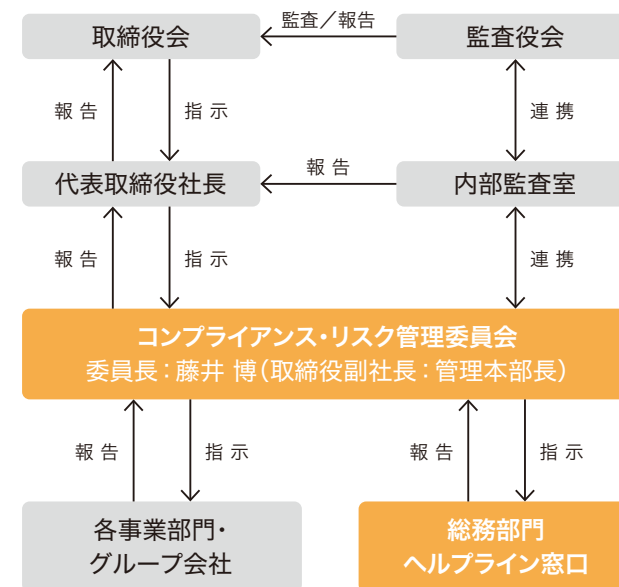
経営の健全性を確保のためには、経営責任の明確化と業務執行の迅速化、経営意思決定の透明性の向上とコンプライアンスの強化が重要だと考えており、日エグループのコンプライアンス徹底を図るための体制及び施策の整備を進めています。

日エグループの行動規範では、コンプライアンスの遵守を第一に掲げており、従業員全員がアイデンティティとして共有し、法令遵守にとどまらず、社会規範や社内ルールを意識して公正・透明で良識ある企業活動の実践に努めています。

日エグループの行動規範

- 1 コンプライアンス**
私たちは、良心に従い、法令・社会規範・社内ルールを遵守して不正行為は行わず、公正・透明で、良識ある企業活動を実践します。
- 2 より良い製品とサービスの提供**
私たちは、研究・技術開発を充実させ、安全と品質に十分配慮した良質な製品とサービスをお客様に提供します。
- 3 社会とのコミュニケーション**
私たちは、顧客、株主、取引先、地域社会とのコミュニケーションを心がけ、経営の透明性を確保し、説明責任を果たします。
- 4 安全とゆとりと豊かさを求めて**
私たちは、安全を最優先し、職場環境の整備、労働条件の改善を図り、社員一人ひとりがゆとりと豊かさを実感できるように努めます。
- 5 環境保全**
私たちは、環境保全の取り組みを推進し、良好な環境の創出に貢献します。
- 6 反社会的勢力の排除**
私たちは、市民社会の秩序や安全・安心に脅威を与える反社会的勢力、団体とは一切の関係を持ちません。

コンプライアンス推進体制



企業倫理ヘルプラインの運営

国内グループ会社では、改正公益通報者保護法に準拠した内部公益通報者対応の体制を整備し、取締役、執行役員をはじめ従業員に対して周知徹底を図っています。

ヘルプライン運営に関する主な周知内容

- 1 企業の存亡にかかわる不祥事は、「役職員が自ら不当に利益を得るため」ではなく、「会社のため組織のため」という名目で、かつ違法性の認識が不十分なままになされる場合が多いと認識
- 2 専門ノウハウをもった部署に容易に相談ができ、役職員が判断を誤らないようにしておくことが大切
- 3 内部公益通報制度があれば、心理的にブレーキが掛かり、不正の抑止効果が働く
- 4 「不正は必ず明るみに出る」という仕組みを作り込むことが必要→コンプライアンス意識の徹底
- 5 内部通報者は、平成18年4月1日施行の「公益通報者保護法」(平成16年法律第122号) で守られる
- 6 異動・昇進等の処遇問題や誹謗中傷の類は対象外とする
- 7 通報手段は投書・ポータル・Emailで実名または匿名も可とし、受付窓口関係者は守秘義務を負う
- 8 通報者への回答は、先ず調査方針・スケジュールを開示し、一定期間内の回答を予め確約する

ヘルプライン窓口通報件数

